

住民意向調査速報版（富岡町・葛尾村）の公表について

原発事故による避難者等に対する住民意向調査について、富岡町、葛尾村の住民を対象とした調査結果を取りまとめました。

1. 調査概要

富岡町

調査主体	復興庁、福島県、富岡町
調査対象	世帯の代表者（5,993世帯）
実施期間	令和5年8月28日～9月18日
回答者数	2,438世帯（回収率40.7%）

葛尾村

調査主体	復興庁、福島県、葛尾村
調査対象	世帯の代表者（438世帯）
実施期間	令和5年9月19日～10月9日
回答者数	208世帯（回収率47.5%）

2. 調査結果のポイント

別紙1～2のとおり

本件連絡先
（原子力災害復興班）担当：星野、菊田
電話：03-6328-0250（直通）

富岡町調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、富岡町の共同調査は 12 回目。

(1) 帰還の意向

既に富岡町で生活している	10.9% (9.8%)
戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)	9.4% (9.3%)
戻りたいが、戻ることができない	16.9% (16.8%)
まだ判断がつかない	13.2% (12.1%)
戻らないと決めている	48.3% (50.4%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R4.9)結果

(2) 帰還を判断するために必要なこと (上位抜粋)

医療機関 (診療科) の拡充	62.6% (57.9%)
商業施設の充実	52.3% (47.9%)
介護・福祉施設の充実	43.3% (34.3%)
どの程度の住民が戻るかの状況	36.4% (36.6%)
防犯・防火対策の強化	24.3% (20.7%)

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由 (上位抜粋)

すでに生活基盤ができているから	63.6% (64.2%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	41.0% (42.7%)
医療環境に不安があるから	26.4% (30.8%)
生活に必要な商業施設などが不足しているから	21.8% (24.9%)
高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから	17.8% (17.3%)

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答

葛尾村調査結果のポイント

- ・ 将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・ 復興庁、福島県、葛尾村の共同調査は8回目。

(1) 帰還の意向

既に葛尾村に戻っている	33.7% (34.3%)
戻りたいと考えている (将来的な希望も含む)	5.8% (14.0%)
まだ判断がつかない	20.2% (20.7%)
戻らないと決めている	36.1% (27.7%)

※(カッコ)書きは、それぞれ前回調査(R3.9)結果

(2) 帰還を判断するために必要なこと (上位抜粋)

医療機関 (診療科) の状況	54.8% (45.2%)
公共交通機関の充実	42.9% (22.6%)
介護・福祉施設の状況	40.5% (29.0%)
商業施設の充実	21.4% (24.2%)
どの程度の住民が戻るかの状況	19.0% (21.0%)

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した方のみ回答

(3) 戻らないと決めている理由 (上位抜粋)

すでに生活基盤ができているから	44.0% (36.1%)
避難先の方が、生活利便性が高いから	40.0% (45.8%)
医療環境に不安があるから	36.0% (37.3%)
高齢者・要介護者のいる世帯なので生活が不安だから	33.3% (25.3%)
葛尾村外への移動交通が不便だから	26.7% (28.9%)

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した方のみ回答